

研究テーマ：参加型の新しい平和教育教材の開発～広島の地域課題に根ざした ESD の取組～	
研究代表者：人間文化学部 国際文化学科 教授 富田 和広	連絡先：tomita@pu-hiroshima.ac.jp
共同研究者：広島経済大学 講師 榎本 伸悦、安田女子大学 講師 西川 京子、広島県立広島西特別支援学校 教諭 中須賀 裕幸、広島市立宇品中学校 主幹教諭 岡田 祐一、広島市立緑井小学校 教諭 有森 歩、シチズン・プロジェクト&ワークス 代表 佐々木 宏知、(財)日本国際協力センター・トレーニングコーディネイター 服部 淳子	
<p>【研究概要】</p> <p>(研究の背景) 新学習指導要領に ESD という項目が加わり、持続可能な開発のための平和構築というのが観点が平和教育に必須となった。(目的) 広島地域課題に根ざした ESD の取組の一つとして、新しい平和教育教材開発を行うことを通して、広島県が国際平和の拠点になることに寄与すべく、参加型のオリジナル平和教材を開発する。(成果) 学習者がより主体的に平和について学び、再び自分自身へ平和について問いかけるための 12 本の教材を開発し、これらを収めた教材集を 200 部作成し、関係諸機関に配布した。</p>	

【研究内容・成果】

● 研究概要・目的

本研究は、広島地域課題に根ざした ESD : Education for Sustainable Development の取組の一つとして、新しい平和教育教材開発を行うことを通して、広島県が国際平和の拠点になることに寄与するという構想をたて、これを具体化するために、広島発の新しいタイプの 12 本の参加型オリジナル平和教材を開発し、教材集として発行、無償で配布した。

● 背景

従来、平和教育は戦争や被爆の実相に触れる取り組みが中心であったが、新学習指導要領に「持続可能な開発のための教育」(ESD) という項目が加わり、持続可能な開発のための平和構築というのが観点が平和教育に必須となった。本研究における新しい平和教材の取り組みは、このような動向における新しい取り組みと位置づけられる。

● 特色・独創的な点

平和学習を、持続可能な社会の基礎となる平和構築のための人材育成と位置づけ、参加型学習という教育方法を取り入れるのは独創的であり、広島という地域特性を生かした教材作成という点が特色である。

● 意義

初等教育から高等教育、社会教育まで、現場にあわせた使いやすいタイプの教材のありかたについて明らかになることは、広島県の平和教育の推進、「ひろしま未来チャレンジビジョン」でうたわれている「平和のための人材育成への取組み」に寄与し、成果を世界に向けて発信することで広島県の国際平和の拠点化に貢献するという意義をもつ。

● 教育研究実施状況の概要

教材開発のために、研究会を 9 回開催した。研究会では、これまでの平和学習教材の検討を行い、世界の現実にも目を向ける「現在形」の実践、平和構築への主体形成に向けた「未来形」の実

践を中心とした、「参加型」による平和教育教材を行うこととした（参加型学習とは、一方向な知識伝達型の学習ではなく、学習者が学習過程に積極的に参加することを促す学習形態のことで、学習者が世界の抱える課題に気づき、それを理解し、その平和的な解決に向けて参加していく態度や技能を養うための学習活動である）。そして、新しい教材開発、教材の試行、修正を繰り返した。

11月には二日間にわたって、県立広島大学と広島平和文化センター・広島平和記念公園を会場として、開発した教材の試行ワークショップを一般公開で開催した（11/26-27）。専門家である帝塚山学院大学リベラルアーツ学部の岩崎裕保教授を招聘し、開発した教材に対してコメントをいただき、また、ワークショップの参加者からもコメントをいただき、教材の修正を行った。

最終的に、12本の新しい教材を作成し、これらを収録した教材集を作成した。

3月には、県立広島大学において、教材集の完成披露ワークショップを一般公開で開催した。

教材集は200部印刷し、無償で配布した。



● 研究成果

学習者がより主体的に平和について学び、再び自分自身へ平和について問いかけるという参加型教材を作成した。大きく分けて、ヒロシマを素材とした教材、広島平和記念公園、あるいは、広島平和記念資料館などで学習する内容でヒロシマを訪れて活動する際の教材、ヒロシマから世界へ発信する内容で、より深く平和について考えるための教材である。

具体的には以下の12本の教材である。

- 1 「スタートラインに立ってみよう」
- 2 「きのご雲ってなあに?」
- 3 「広島平和スタディツアーを考えよう」
- 4 「平和の願いを形にしよう」
- 5 「継承について考えよう」
- 6 「平和公園を歩こう」
- 7 「ヒロシマをつたえよう」
- 8 「平和記念資料館別館をつくろう」
- 9 「外国で平和展をひらこう」
- 10 「平和への視点を広げてみよう」
- 11 「核兵器廃絶会議を開こう」
- 12 「こどもたちの絵から感じよう」

教材集の内容は、教材だけでなく、参加型学習の用語や手法例、アイスブレイキング、学習のリソースについても紹介した。



